

教科	科 目	単位数	学年・クラス
国語	古典探究	2	3年2組（理）

1 使用教材

使用教科書	精選 古典探究
出版社	大修館
副教材等	学ぶぞ古文と漢文
出版社	尚文出版

2 学習の目標

1	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
2	古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
3	我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 評価の規準・観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	常用漢字や古典の文章中の語句、文法、表現技法について正しく理解できている。
② 思考・判断・表現	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。
③ 主体的に学習に取り組む態度	意欲的に学習に取り組み、理解した内容や感じたことを自分の言葉で表現することができる。

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
学習態度	C	B	A	授業態度など
ノート提出	B	B	A	指示した時期に提出
感想の記入	C	A	A	各単元終了後に提出
定期考査	A	A	C	定期テスト、課題テスト

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	古文編 2 随筆（一） 方丈記「安元の大火」 漢文編 1 故事・逸話 「死せる諸葛 生ける仲達 を走らす」 古文編 2 随筆 枕草子 「二月つごもりご ろに」 漢文編 2 漢詩—古体詩 「桃夭」「子夜呉歌」	古文を読む能力を高めるとともに、作者の心情を理解する。 長文に読み慣れ、漢文を読解して鑑賞する能力を高める。 作者のものの見方や感じ方、また教養などについて理解する。 人生の悲哀や苦悩、社会に対する省察や批判等を読み取り、深く味わう。
2 学期	古文編 4 日記 紫式部日記 「和泉式部と 清少納言」 漢文編 3 史伝 「刎頸の交はり」 古文編 5 物語（二） 源氏物語 「葵の上と物の 怪」 漢文編 5 思想 「過猶不及」 「母之愛子也」 「夢為蝴蝶」	作者の女性の境遇がこれらの作品を生む契機となったことを認識させ、作者の心情を理解させる。 登場人物の描かれ方を考察し、巧みに描き分けられているそれぞれの人柄を把握してその心情や性格について理解を深める。 『源氏物語』を資料や辞典を使って自分の力で読む姿勢を確立する。 場面の状況や人物の心理を正確にとらえる。 人間のあり方や生き方、ものの見方や考え方などについて理解し、その現代的意義について考える。
3 学期	古文編 6 近世の俳諧 「俳句」 漢文編 6 長恨歌と日本の文学 「長恨歌」	発句の情景や感動の中心をとらえ、多様な方法でそれらを表現したり、批評したりする。 叙述表現の巧みさを鑑賞し、登場人物の感情を的確に読み取る。